

LICENSED PRODUCT

KODAN Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



西垣文庫

機筋通丸湯



中風不發用心藥  
中風御杖之妙藥

城州相樂郡椿井庄

本家 德平勝定製



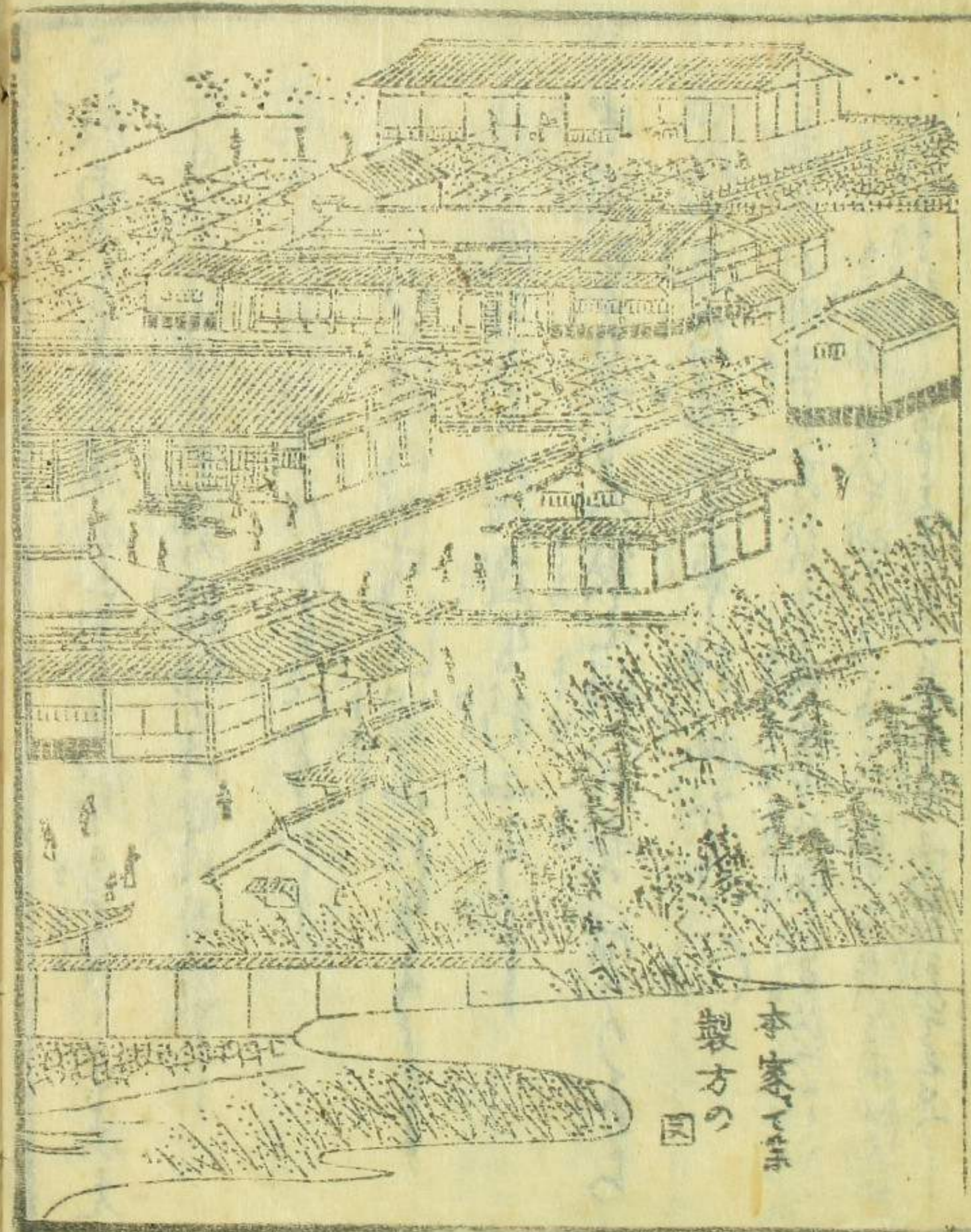
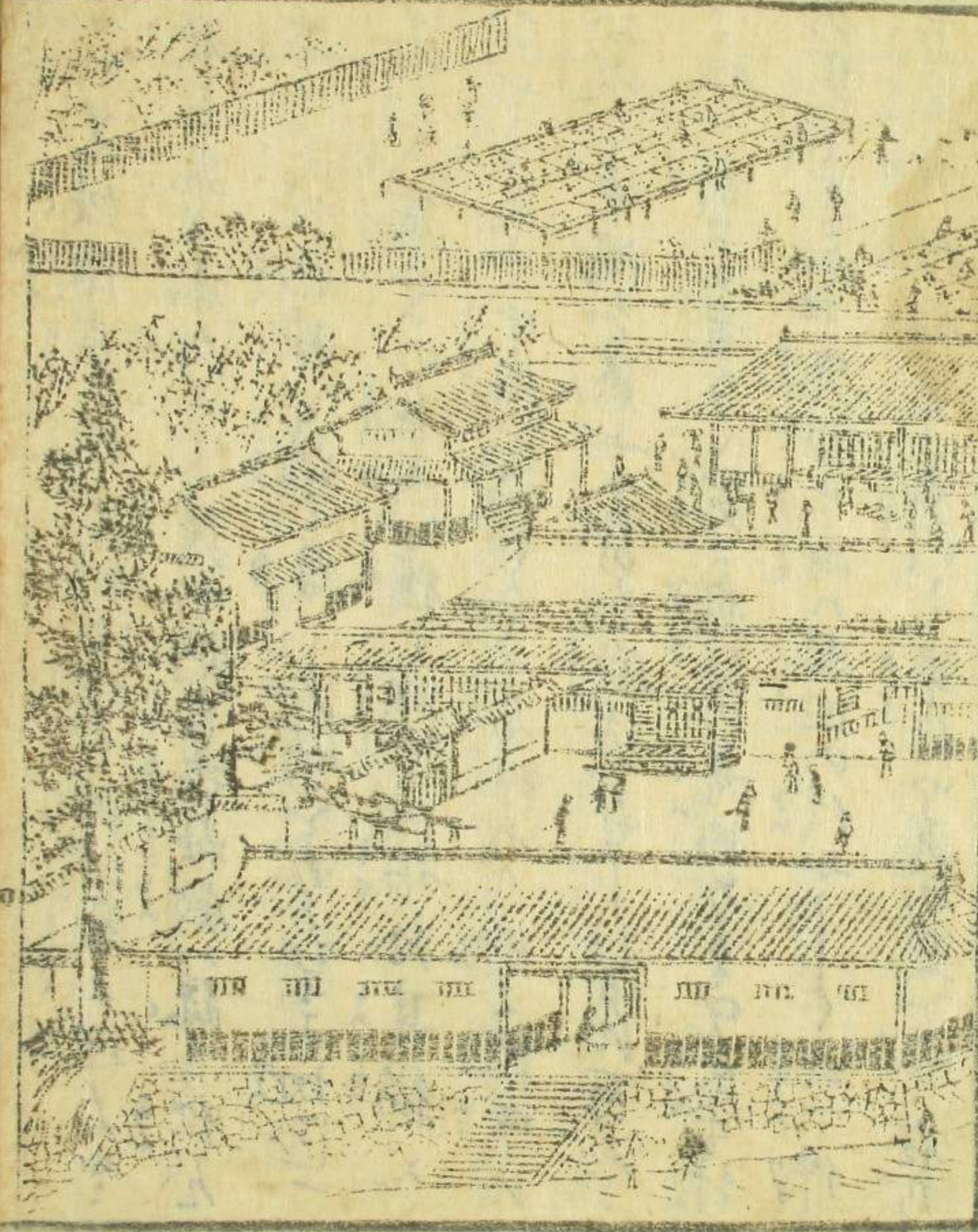
①一年の用心薬三斗くハ  
②接合ハ吾等ノモト  
③此丸ヲ飲ムハ眼ヲ明クシ

西垣文庫  
文庫10  
6506

中風用心の太鼓集様筋通丸湯の代に先祖  
 三郎光勝の宣正の願より足利義政公乃幕下  
 六代の御前を領し天正年中秀吉公の  
 御檢地を請ひ更其後備前國因山乃城主金吾  
 中絶言秀吉秋野の幕下在之此御家あり中風  
 防の妙業ありて百万石乃市家中毎季茶三服  
 宛宛御対は表中風乃病を令なり御承三年  
 此間御藥長山御徳を遣は得ば中風の患ひとるん  
 入其類多し後々獲筋通丸湯と名付く事有らん

京大坂の大醫と尋らば近年中風乃病多し  
 是ハ魚鳥酒と食して身が不効心氣と痛る人遠  
 邪を遠く棄てて入と習くより血とめぐらぬ  
 此方第一也自ら諸病も除る理あり刻ら  
 高貴の御人乃とも傳ふ本國に法入助けのよまけ  
 方及弘む此は毎季三日のち此藥三々用也  
 まは國中に中風の病あり脈押して脈はよ  
 聖き人より長き長し一季に三四度の用也  
 此藥  
 用ひばじく他の本を棄てて防ぎらば是れ疾るものなり





本家てま  
製方の  
図

此某法傳来の名家記の後、再び審工、達人中、  
欲を脱し、茶文、所く、良中、桐言、赤秋、殿ハ、殊、一、仁、心、  
海、民の、痛、苦、と、憐、れ、ま、さ、く、名、醫、と、り、と、む、る、と、切、に、一、  
遂、入、唐、学、の、良、医、と、獲、け、城、中、に、招、け、其、術、を、  
開、き、し、る、と、中、風、と、治、さ、る、と、り、恩、徳、あ、り、時、に、國、中、に、  
お、お、く、中、風、を、患、え、る、の、を、醫、治、せ、し、む、る、に、百、人、  
一、人、も、愈、ま、る、者、さ、く、實、に、愈、徳、の、奇、妙、あ、る、と、り、衆、も、林、  
の、び、し、ま、る、と、私、先、祖、に、對、し、勝、正、の、代、に、一、と、此、一、件、  
万、篇、書、秋、殿、より、恩、門、に、奉、行、し、る、の、由、と、記、す、右、乃、

醫師ハ此某法と勝正相傳して遺きぬル以某網合  
の儀と私作別術家中毎事於下長上は援あつて  
右今此類るは靈方と仰ぐれ其後永く我が家秘  
て他へ洩さるるは更々此某法用ひの由方ハ能書傳  
ふと篤と信續るは某方乃傳きしとて感得ありて  
事々用ひ生涯の痛者免と傳ふる  
夫中風不費用此某ハ脚の價をそと病長壽と傳ふ良  
業之貴族男女は是を喜ぶと云ふ人々抑も世に列然  
と云ふ人々を欺くは實業は西の法入疑惑無く天下無

御所様方御藥献上之圖

故事一子相傳後肉與双中風藥之功驗多矣  
 朕于今斯會借授自昔遠人怨愛也因世常方候  
 他藥而迴途病勢且重乃身妙方及病毒未除因  
 早竹葉用時恰薄水熱湯以灌病毒自解其快  
 及幸無病又為中病其苦藥處極其其功驗是  
 既此藥為神效焉病苦甘結全成功驗其功驗不  
 遺矣乃幸獲成事因緣武天保十年春幸小  
 不知不儀世藥之由是後天保  
 處聞傳御支配不家法合如聖樹等



御所之上尚丹曲藥澄白可任至其後  
 身放曲藥 御用被為存外上御医人  
 奇 亦幸乃為思身哉 漸貴至所相變  
 御所様方白承 献上不可怠之景  
 尊命其加至極難有 修孫以藥中  
 乙撰書煉精藥而端人為助于  
 四方弘之云尔



の靈蒸とて常用ひ減とせんが兼遠の著と志 於人今  
 助瀉きと傷及不之依之未判する人の為思ふ事と不顧  
 御所様方々 御藥款上の列也とび平が最密の荒増を  
 繪巻にありて 控入清葉の根元とて巨く解除せり  
 猶る六類ひの念意なく 建て必用ひては成は唯三服の  
 葉とて一年中安泰と獲る其功用いて是り 終る事

○發ら用 壹廻代 金拾貳錢

○中風用心 三服代 金拾八錢

△幸餘州取次所清彦の抄

小よりとれ清彦の抄 表入出書

西京二條鳥丸東  
 山本清助